



子どもたちの未来のために動き出そう

やまなし SDGs プロジェクト 第4シーズン



SDGs(持続可能な開発目標)とは?

2015年の国連サミットで採択された国際目標で、「Sustainable(持続可能な)Development(開発)Goals(目標)」の略称です。「誰ひとり取り残さない」を基本理念とし、2030年までに環境破壊や人権侵害をなくし、すべての人が豊かに暮らす世界の実現を目指しています。「Goals」は貧困や飢餓の撲滅、地球環境の保全など17分野にわたり、より具体的な目標として169のターゲットが設けられています。

事務局・山梨日日新聞社メディア企画局
TEL055-231-3131(平日午前9時~午後5時)

山梨県内でのSDGs実現を目指し、県内の企業や経済団体、大学などと山梨日日新聞社、山梨放送は「やまなしSDGsプロジェクト」を進めています。山梨日日新聞の紙面やYBS山梨放送の番組、イベントを通して多彩な情報を発信。森林の持続的な活用を目的としたメインアクション「moritomirai(モリトミライ)」では、具体的な取り組みを展開しています。2021年7月にスタートし、1年ごとに活動してきた同プロジェクトは第4シーズンが始まりました。今季もSDGsの考え方の普及、浸透に一層努めるとともに、山梨の地域課題である森林の持続可能性に資する活動を行っていきます。

地域課題にアプローチする、メインアクション

|モリトミライ|

moritomirai

全国で4,000人以上が体験!

広がっています



カードゲーム 「moritomirai」の全国展開

楽しみながら森林について考えるオリジナルカードゲームを学校現場や企業研修、イベントなどさまざまな場面で活用していただき、森林へ関心を持ってもらうきっかけづくりをします。これまでに23都府県で106回の体験会を開催し、延べ4000人以上がプレーしています。

カードゲームの体験動画は下記の2次元コードからご覧ください。



専修大学でも活用いただきました!

実施概要
日時:7月8日(月) 9:00~10:30
場所:専修大学神田キャンパス
授業名:商学部「環境マーケティング」
参加人数:50名(2グループで実施)
ファシリテーター:山口有里(SUNDRED株)

専修大学商学部「環境マーケティング」の授業では、これまでグローバルな課題を取り扱ってきており、国内の課題に目を向ける機会が少なく、今回、カードゲーム「モリトミライ」を通じて、国内の課題である、「森林保全」などについて学ぶ機会を作っていました。



自分は経営者を目指しており、森林を利用したアイデアなどが思い浮かんだので就職活動に活かしていきたいと思い、また、そのようなイベントがあったら参加していきたい。



森から享受する資源は人間の生活には欠かせないため、「使わない」ではなく「どう使うか」が大切であり、森を守ることと人の生活を豊かにすることが共存できる未来を願います。



最初はよくわからなかったけど、どう動いたら森に影響するかを考えてるうちに段々とわかるようになり、森を大切にしなければいけないけど、その中で利益も出さなきゃいけないという絶妙なバランスをとらなくては行けなくて、しっかり考えると意外と奥が深く面白かったです。また、知らない人とコミュニケーションを取らなければならなかったのが、そういうのが苦手な人にとってはいい機会だったかもしれません。



マーケティング的な部分も学びつつ、自然環境についても学ぶことができ、非常に楽しかった。最初は何が正解なのか全くわからなかったが、ゲームが進むにつれて、正解がわかってきた時に、気持ちよかった。

その他、さまざまな活動を展開していきます!